

## 本書の構成と使い方

## 本書の構成

1章  
戦略を立てる

タンパク質を手に入れるためには、タンパク質のことを知らないなければならない。実験でタンパク質を扱うなら必ず知っておきたいタンパク質の性質や、戦略の立て方を解説。

2章

**2章 発現系を選択する** 原理を理解することが実験成功の秘訣。タンパク質発現系の種類とそれぞれの特徴を紹介し、各発現系のメカニズムを背景から解説。目的にあった発現系を選択するための知識を伝授。

3章

5年  
実験をする

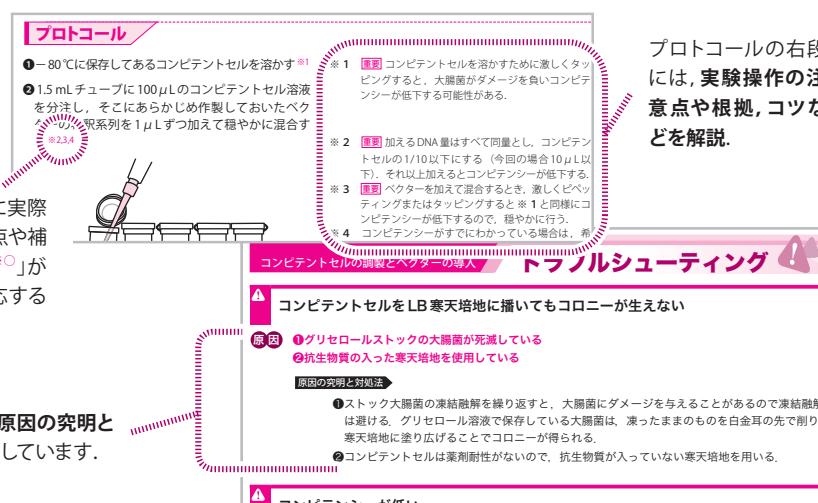
実験操作の根拠がわかれればトラブルに強くなる。まず各発現系における選択肢(細胞株やベクターなど)を紹介。続くプロトコールでは、具体的な操作や注意点、コツはもちろん、実験の「なぜ?」に応える解説が充実、トラブルシューティングも根拠から解説。

4章

ルールを知る

DNA組換え実験をするには、守らなければいけないルールがある。関係する法律や省令から、申請の仕方まで、具体例を挙げて解説。

## プロトコールの使い方



## ▶ 遠心操作について

本書では、回転数(rpm)と重力加速度(G)を併記しています。回転数はプロトコールにて記したローターを用いた場合の数値を示しており、異なる半径のローターを用いる場合は重力加速度の数値に従って遠心操作を行ってください。

### ➡ “水”について

本書では、特に断わらない限り下のいづれかの水を使用しています。

**脱イオン水**: 逆浸透膜やイオン交換膜により塩・イオンを除去した一次純水

**超純水**:一次純水を超純水用イオン交換樹脂に通し、殺菌、濾過後、比抵抗が $18 \text{ M}\Omega\cdot\text{cm}$ を超える水